

EURAXESS Japan

8月29日（火） 10:40-12:10 会場C（5階）

URA用相互作用ワークショップ： 欧州研究協力・交流企画の一から十まで

ここ数年、国際競争が激しくなって研究における日本の立場が試されることにもなりました。数々の論文や調べによりますと、特に日本では盛んではない国際共同研究と研究者の交流（海外へ・海外から）が問題です。国際化が進まないと競争率も下がるという結果になっています。その中、所属している機構の国際プロファイルを上げるため、URAには何ができるか？国際共同研究や研究者交流の可能性を最大に広げるための知識が必要と思われます。又、その知識や常識をうまく研究者や学生に伝えることも大事だと思われます。

そこで、日欧研究協力・研究者の交流をもとにして研究機構の国際化を図れる様に最適な情報とノウハウを提供し、当年次大会にて相互作用ワークショップを開催致します。

40分程度のセミナーを経て、URA様から事前に頂いた質問やコメントについてワークショップ形式で講演者様と出席者様と共に意見交換や対話を通じて総合的な問題解決に望みます。

事前質問や相談はjapan@euraxess.netまでご連絡ください。

オーガナイザー／講演者



Matthieu Py : EURAXESS Japan Office Director

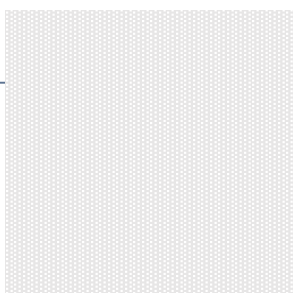
2008年仏ENSPG（現PHELMA）と京大で材料工学修士。2011年仏原子力庁・電子情報技術研究所で博士取得。京大でポストドク後、在日仏大使館科学技術部、2014年から現職。仏アヴィニョン出身。

講演者



Tom KUCZYNSKI : Delegation of the European Union
to Japan S&T Section S&T Advisor

ポーランド出身。経済学博士（広島修道大学）。2006年より2012年まで在日ポーランド大使館一等書記官として科学、工学、イノベーション、エネルギー、気候変動問題を担当。2012年から駐日EU代表部にて科学技術部のアドバイザーとして日EU間での連携研究を担当している。



Naomichi YAMADA :
NCP Japan 科学・技術・イノベーション Manager

2016年6月より日欧産業協力センターに於いて、HORIZON 2020 ナショナルコンタクトポイントに就任。

Memo